

## 第4回振動障害研究会診断体系WG会議議事録（案）

日時：2010年02月11日（9時～15時）

場所：大阪

出席：石竹、久米、黒沢、榊原、樋端、原田（座長）、宮下、Hossain（オブザーバ）、福元（オブザーバ）

欠席：平田、佐藤、安藤

配付資料：議題、資料1-1：第3回WG会議議事録（案）、資料1-2：那須先生意見、資料1-3：診断体系構成メモ（2009/11/29WG修正）、資料2-1：システムティックレビュー経過、資料2-2：なし、資料2-3：問診・診察項目案、資料3-1：振動障害の診断ガイドライン（素案、2010.2.11）

### 議題1 議事録・参考資料

#### 1-1 第3回WG会議議事録（案）：資料1-1

第3回WG会議議事録（案）についてその後の経過とともに説明された。問診（現病歴、曝露歴、職歴、既往歴、家族歴）・診察項目に関しては久米先生と佐藤先生が原案を作成し今回のWG会議で説明する。2010年5月福井での産衛学会総会では振動障害研究会企画シンポジウムを開催し従来の自由集会は設定できないが、総会事務局の示唆を受け、全会員を対象とする「拡大運営会議」ではなく「振動障害研究会総会」として1時間を設定することになった。産業医学振興財団助成金の継続申請と本年末の報告に関しては準備予定である。Dr Hossain と安藤先生によってシステムティックレビューが開始され、安藤先生に打ち合わせのために山口大学医学部（宇部）まで来ていただいた。これらを含めて特に修正意見はなかった。

#### 1-2 那須先生意見：資料1-2

黒沢先生を通じて那須先生から届いた「臨床医から見た問題点」が紹介された。振動障害の定義、健康診断の目的と意義、自覚症状の把握、検査の問題点、諸外国の状況、末梢循環障害、末梢神経障害、運動機能障害の各診断の考え方、業務上外の検査のあり方、1次健診と2次健診の項目について述べられている。参考になる点と検討を要する点を含めて意見が交換された。

#### 1-3 診断体系構成メモ（2009/11/29WG修正）：資料1-3

福岡での第3回WG会議での指摘、その他により紫字を用いて若干の修正が加えられた診断体系構成メモ（2009/11/29WG修正）について、1次健診の鑑別診断に視触診を入れること、基本診断（2次健診に同じ）のFST、NPT検査における冷水浸漬部位は前回通り片手とすること、精密検査にサーモグラフィーを入れ、MRI検査は除くことでした承された。

### 議題2 関連検討事項

#### 2-1 システムティックレビュー経過：資料2-1

Dr Hossain より PowerPoint と検索結果の論文リスト（資料2-1）によって詳細な説明があった。もう1名のreviewerである久留米大学の安藤先生に山口大学に来ていただいて打ち合わせを行なうとともに、作業を進めながらe-mailを使用して打ち合わせを継続している。当初、4種類の文献データベースを必要としていたが、PubMedとSCOPUSで他のデータベースがカバーされていることが判明した。まず、末梢循環検査のFSTとFSBPについてレビュー作業を進めている。検査のSnとSpについては検討できるが、Normative valueについては資料の限界で検討できないかもしれない。Dr Hossain より QUADAS についての意見がメンバーに求められたが、Dr Hossain よりの質問項目と、関連するBMC文献を後日e-mailで送付してメンバーの意見を集約することになった。

## 2-2 白指標準写真

石竹先生から、診断ガイドラインに収録予定の「白指標準写真」のために、札幌の佐藤先生を訪問し北海道での白指写真の収集を行なっていること、さらに整理を進めていることが報告された。

## 2-3 問診・診察項目案：資料 2-3

久米先生から、久米先生と佐藤先生が作成された問診・診察項目案が説明された。問診・診察の基本的な項目構成については大きな修正意見は無かったが、特に、問診項目について、診断に必要な項目、職場での予防措置・対策に必要な項目、治療に必要な項目、作業・日常生活への影響評価に必要な項目などに区分して整理することが要請された。従って、健康管理としての健診と診断のための健診で問診（と診察？）項目に差異が出ることになる。その他、問診項目では、使用振動工具毎に A(8)値を調査項目として入れる、白指症状は那須先生メモを参考とする、診察項目では部位別の所見項目の統一性をはかるなどの意見があった。問診・診察項目ともに、本文中には簡略化して文章で記述し、項目一覧を表形式にすることが要請された。

## 議題 3 新しい診断体系の検討

### 3-1 振動障害の診断ガイドライン（素案、2010.02.05）：資料 3-1

座長より資料 3-1 が説明された。前回 WG 会議での修正事項と新しい記述事項を紫字で示し、今後の検討のための参考記述を後半に付けている。「運動器」の用語について「筋骨格系」を用いる方向での検討が了承された。

修正ガイドライン案を WG メンバーに添付ファイルで送付し、循環系、神経系、筋骨格系、問診・診察の各担当者が 1 ヶ月をメドに追加・修正して座長に返送することで了承された。

## 議題 4 診断基準

### 4-1 検査判定基準

### 4-2 症度分類

以上については今後の課題（来年度）として今回は検討しなかった。

## 議題 5 その他

### 5-1 今後の予定

次回の WG 会議は 5 月の福井産衛学会総会時の研究会総会との関連で調整する。

以上